

作成日 2011 年 6 月 14 日

改訂日 2022 年 9 月 27 日

## 安全データシート

### 1. 【 化学品及び会社情報 】

製品名	ユニホップ
供給者の会社名称	丸和バイオケミカル株式会社
住所	東京都千代田区神田須田町 2-5-2
担当部門	開発本部 登録・環境グループ
電話番号 / FAX	Tel: 03-5296-2313 Fax: 03-5296-2323
推奨用途	除草剤
使用上の制限	農薬登録以外の使用は不可
整理番号	22914-05

### 2. 【 危険有害性の要約 】

化学品の GHS 分類(分類 JIS)

物理化学的危険性	引火性液体	区分 4
健康有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
	発がん性	区分 2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2(血液)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2(血液、眼、鼻)
	誤えん有害性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性液体

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

皮膚および眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

眠気またはめまいのおそれ

発がんのおそれの疑い

血液の障害のおそれ

長期にわたる、または反復ばく露による血液、眼、鼻の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱後は手をよく洗うこと。

- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 【応急措置】**  
 飲み込んだ場合:直ちに医師/中毒情報センターに連絡すること。  
 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。  
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師/中毒情報センターに連絡すること。  
 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当を受けること。  
 気分が悪い時は医師/中毒情報センターに連絡すること。  
 気分が悪い時は医師の診察/手当を受けること。  
 無理に吐かせないこと。  
 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当を受けること。  
 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当を受けること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 火災の場合:消火するために適切な消火剤を使用すること。  
 漏出物を回収すること。
- 【保 管】**  
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 施錠して保管すること。
- 【廃 棄】**  
 内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。  
 都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

**3. 【 組成及び成分情報 】**

化学物質・混合物の区別  
 化学名又は一般名

混合物

メタミホップ:

(R)-2-[4-(6-クロロ-1,3-ベンゾオキサゾール-2-イルオキシ)フェノキシ]-2'-フルオロ-N-メチルプロピオンアニリド

成分及び含有量	化審法 No.	安衛法 No.	CAS No.
<有効成分>			
メタミホップ	10.0%	対象外	8-(7)-1698
256412-89-2			
<その他>			
有機溶剤、界面活性剤等	90.0%		
(トリメチルベンゼン	4.8%)	(3)-3427	25551-13-7
(内 1,2,4-トリメチルベンゼン	2.2%)	(3)-7	95-63-6
(ナフタレン	3.1%)	(4)-311	91-20-3
(ポリ(オキシエチレン)=アル	10 %)	(7)-97	69013-19-0
キルエーテル(C=12~15)			

**4. 【 応急措置 】**

吸入した場合

空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 気分が悪い時は医師/中毒情報センターに連絡する。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り除く。皮膚を水と石鹼で洗う。

眼に入った場合	皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受ける。 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受ける。 直ちに医師/中毒情報センターに連絡する。口をすすぐ。 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。 無理に吐かせない。

## 5. 【 火災時の措置 】

適切な消火剤	小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の泡消火剤 大火災: 散水、水噴霧、一般の泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の特有の危険有害性	可燃性物質: 燃えるが、容易に発火しない。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。 屋内、屋外又は下水溝で蒸気爆発の危険がある。
特有の消火方法	引火点が極めて低い: 散水以外の消火剤で消火の効果が無い 大きな火災の場合には散水する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 大火災の場合、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。これが不可能な場合には、その場所から避難し、燃焼させておく。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 【 漏出時の措置 】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 作業者は適切な保護具(8.【暴露防止及び保護措置】の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 風上に留まる。 低地から離れる。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
環境に対する注意事項	漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止策	危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

**7. 【 取扱い及び保管上の注意 】**

取扱い

技術的対策

8. 【暴露防止及び保護措置】に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

8. 【暴露防止及び保護措置】に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

火気厳禁

接触、吸入しない又は飲み込まないこと。

空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取扱後は手をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

屋外又は換気のよい場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

接触回避

10. 【安定性及び反応性】を参照。

保管

安全な保管条件

保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

炎及び熱表面から離して保管すること。

冷所、換気のよい場所で保管すること。

酸化剤から離して保管すること。

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気のよい場所で保管すること。

安全な容器包装材料

消防法で規定されている容器を使用する。

**8. 【 ばく露防止及び保護措置 】**

	管理濃度	許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)	
		日本産業衛生学会 (2021年版)	ACGIH (2018年版)
メタミホップ	未設定	未設定	未設定
1,2,4-トリメチルベンゼン	未設定	25ppm (120mg/m <sup>3</sup> )	25mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA) [Trimethyl benzene (mixed isomers) (25551-13-7) ]
ナフタレン	未設定	未設定	10mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA)
ポリ(オキシエチレン)アルキ ル(C8~22)エーテル	未設定	未設定	未設定

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

高熱取扱いで、工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

**保護具**

呼吸用保護具

必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。  
換気が不十分な場合には、適当な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

眼の保護具を着用すること。

化学飛沫用のゴーグル及び規格にあった顔面保護具を着用すること。

安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。

顔面用の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取扱後は手をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

**9. 【 物理的及び化学的性質 】**

物理状態

液体

色

淡褐色

臭い

溶媒臭

臭いの閾値:情報なし

融点/凝固点

情報なし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

情報なし

可燃性

情報なし

爆発下限界及び爆発上限界

情報なし

/可燃限界

引火点

64.5°C(タグ密閉式)

自然発火点

情報なし

分解温度

情報なし

pH

4.0

動粘性率

情報なし

溶解度

情報なし

n-オクタノール/水分配係数

情報なし

(log 値)

蒸気圧

情報なし

密度及び/又は相対密度

比重(密度) 0.98(20°C):浮きばかり法

相対ガス密度

情報なし

粒子特性

非該当

**10. 【 安定性及び反応性 】**

反応性

情報なし

化学的安定性

通常の条件においては安定である。

危険有害反応可能性

酸化剤と反応する。

避けるべき条件

高温、加熱、火花または裸火

混触危険物質

酸化剤

危険有害な分解生成物

燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素が発生する。

## 11. 【 有害性情報 】

急性毒性(経口)	ラット LD <sub>50</sub> : ♀ >2000mg/kg(区分に該当しない)
急性毒性(経皮)	ラット LD <sub>50</sub> : ♂ ♀ >2000mg/kg(区分に該当しない)
急性毒性(吸入:蒸気)	データなし(分類できない)
急性毒性(吸入:ミスト)	ATEmix= 10.5mg/L(区分に該当しない) (混合物の71%は毒性が未知の成分からなる。)
皮膚腐食性/刺激性	中等度の刺激性を示したため、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	軽度の刺激性を示したため、区分2Bとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性 データなし(分類できない) 皮膚感作性 モルモット:感作性なし(区分に該当しない) 情報が十分でない(分類できない)
生殖細胞変異原性	区分2の成分(ナフタレン)を1.0%以上含むため、区分2とした。 情報が十分でない(分類できない)
発がん性	区分2(血液)の成分(ナフタレン)を1.0%以上10%未満含むため、区分2(血液)とした。 区分3(気道刺激性、麻酔作用)の成分(ポリオキシエチレンアルキル(C8~22)エーテル、1,2,4-トリメチルベンゼン等)を20%以上含むため、区分3(気道刺激性、麻酔作用)とした。(区分3(気道刺激性、麻酔作用)と判定するに専門家の意見を聞いていない。)
生殖毒性	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(血液、眼、鼻)の成分(ナフタレン)を1.0%以上10%未満含むため、区分2(血液、眼、鼻)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1の成分(1,2,4-トリメチルベンゼン等)を10%以上含み、40°Cにおける動粘性係数が20.5mm <sup>2</sup> /s以下であるため、区分1とした。
誤えん有害性	

## 12. 【 環境影響情報 】

生態毒性	
魚類	コイ LC <sub>50</sub> (96h):3.38mg/L
甲殻類	オオミジンコ EC <sub>50</sub> (48h):3.36mg/L
藻類	緑藻 ErC <sub>50</sub> (72h):19.8mg/L 短期(急性):甲殻類の値より、区分2とした。 長期(慢性):急性区分2であり、急速分解性および生物蓄積性が不明であるため、区分2とした。
残留性/分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報が十分でない(分類できない)

## 13. 【 廃棄上の注意 】

化学品、汚染容器及び包装の 安全で、かつ環境上望ましい 廃棄、又はリサイクルに関する 情報	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に
--	--

従うこと。

本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

#### 14. 【 輸送上の注意 】

国連番号	3082
品名(国連輸送名)	環境有害物質(液体)(メタミホップ)
国連分類	9(有害性物質)
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	海上規制情報:IMO の規制に従う。 航空規制情報:ICAO/IATA の規制に従う。 輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 移動の際に、転倒、衝撃、摩擦、圧壊、漏洩などを生じないようにする。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。 運搬中の事故等により災害が発生した場合は、最寄りの消防機関その他の関係機関に通報すること。 重量物を上積みしない。 輸送時にイエローカードを携帯する。
国内規制がある場合の規制情報	陸上規制:消防法の規定に従う。 海上規制情報:船舶安全法の規制に従う。 航空規制情報:航空法の規制に従う。
応急措置指針番号	171

#### 15. 【 適用法令 】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報	
農薬取締法	第 22914 号
化学物質排出把握管理促進法(化管法)	第 1 種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。)(第 1 種)1,2,4-トリメチルベンゼン(第 1 種)(2023 年 4 月 1 日以降、「トリメチルベンゼン」に名称変更) ナフタレン(第 1 種)
労働安全衛生法	第 57 条 表示対象物、第 57 条の 2 通知対象物 トリメチルベンゼン(政令番号 404) ナフタレン(政令番号 408) 第 57 条の 5 変異原性が認められた既存化学物質 ナフタレン 危険物・引火性の物(施行令別表第 1 第 4 号)
毒物及び劇物取締法	該当なし
消防法	危険物第四類第二石油類(非水溶性液体)(法第 2 条第 7 項危険物別表第 1)

化審法	第2種監視化学物質(法第2条第5項)(ナフタレン) 第3種監視化学物質(法第2条第6項)(1,2,4-トリメチルベンゼン、ナフタレン)
廃棄物処理法	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4) 引火点70℃以下の廃油

#### 16. 【 SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報 】

事故に伴い急性中毒の恐れがある場合

公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番

	一般市民専用電話 (通話料のみ)	医療機関専用有料電話 (1件につき2000円)
大阪中毒110番 (年中無休、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば中毒 110 番 (年中無休、9～21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

記載内容は十分な配慮に基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは情報を提供するものであって、品質や安全性等に関していかなる保証もするものではありません。危険・有害性等の評価は必ずしも万全ではありませんので、取扱いには十分注意を払って下さい。また、注意事項は通常の実施を対象としております。